

平成 26 年 9 月 29 日

広島大学における留学生増加に向けた取組について

【総合大学】

広島大学は 10 年後あるべき大学の姿として、教育力と研究力の強化を両輪とし、徹底した国際化の取り組みにより国際通用性を確保することで、グローバル人材を持続的に輩出し、卓越した研究拠点を形成・展開する世界トップレベルの総合研究大学を目指しています。

その国際化の取り組みにおいて、外国人留学生増加によるキャンパスの多様化、日本人学生の海外派遣の促進などを重要な課題として掲げており、今回、留学生増加に向けた本学の取り組みについてご紹介致します。

なお、次回（第 58 回）での会見で、日本人学生の海外派遣促進に向けた取り組みをご紹介する予定です。

【お問い合わせ先】

学術・社会産学連携室 広報グループ 楠本
TEL：082-424-6762
Mail：koho@office.hiroshima-u.ac.jp

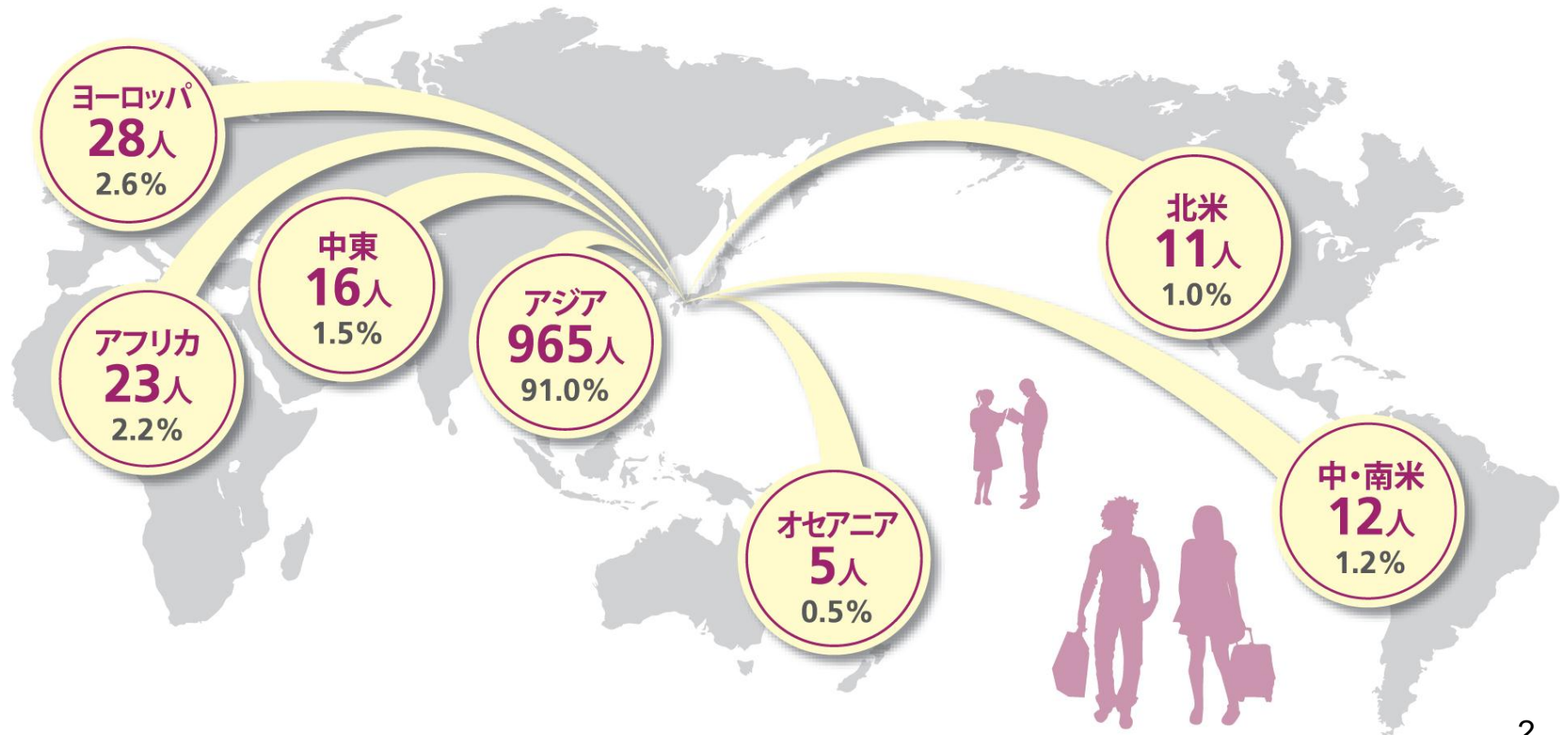
広島大学における留学生増加に向けた取組

平成26年 9月 29日

本学の外国人留学生数(H26.5.1現在)

1,060人【66カ国・地域】 ➔ 10年後… 3,600人へ

国(地域)別外国人留学生数(平成26年5月1日現在)



積極的な留学情報の提供①

公式Webサイトの多言語化の整備

- ◆日・英・中の3カ国語に対応

海外在住留学希望者向けサイト「Explore HU」の開設(H26.8)

- ◆本学の留学生と共に制作し、留学生の意見を数多く反映。

広島大学紹介動画の制作

- ◆日本人学生と留学生の協力による制作
- ◆6カ国語で展開(日本語・英語・中国語・韓国語・ベトナム語・インドネシア語)



積極的な留学情報の提供②

研究者情報公開の徹底

- ◆研究者総覧(データベース)での英語・日本語による研究活動等の公開



留学に関する一元的相談窓口の設置※今後取組予定

- ◆効果的な留学支援体制の構築
- ◆留学希望学生から本学教員に対するメールによる個別の問い合わせに対応し、当該学生と指導教員とのマッチングを円滑に進める

海外での留学フェアの実施

◆本学の海外拠点等を活用した本学独自の「広島大学留学フェア」を平成25年度から実施

・海外拠点(8カ国・地域に9拠点)

中国、ロシア、ケニア、ブラジル、ベトナム、インドネシア、韓国、台湾

【H25年度】ベトナム(9月), 中国(11月), インドネシア(11月), 台湾(12月)で実施。参加者 約 470名

◆平成26年度 留学フェア・広島大学留学説明会実施予定

場所		日程	主催
中国	北京	5/17	広島大学
台湾	高雄, 台北	7/19, 20	JASSO
ベトナム	ホーチミン, ハノイ	9/19, 20, 21	広島大学(19日), 広島県(20, 21日)
インドネシア	バンドン, スラバヤ, ジャカルタ	10/16, 18, 19	広島県(16日), JASSO(18, 19日)
韓国	釜山, ソウル	11月頃	広島県
台湾	台北	11月頃	広島県
マレーシア	クアラルンプール	11/29, 30	JASSO

グローバル入試の標準化へ

インターネット出願・クレジット決済の導入による効率化

◆平成27年度入試(平成26年度実施)から導入

- ・学士課程の一般入試, AO入試, 推薦入試, 私費外国人留学生入試, 一部の編入学試験において実施
- ・一部の研究科入試等においても実施
- ・インターネット出願と併せて, クレジットカードやコンビニエンスストアで検定料の支払いが可能に
※日本国外からは, クレジットカード決済のみ利用可能

◆平成29年度入試(平成28年度実施)から完全実施を目標

大学院10月入学の充実

- ◆全学部・研究科で3・4月及び9・10月に入学・卒業ができる柔軟な制度を整備
- ◆全大学院で、英語を用いた授業科目の履修のみで修了できる専攻を設置

クォーター制の導入

- ◆平成27年度からクォーター制を導入(試行)、平成28年度より 本格導入

支援体制の強化①

PA(フェニックス・アシスタント)雇用による経済支援

◆PA(学内アルバイト)による学内の運営支援業務の拡大、PA活用の促進

留学生宿舎の確保

◆平成26年10月から、新たに新渡日の留学生を対象に民間アパートを留学生宿舎として借上げ、各種生活支援サービス提供と併せて業務委託

名称等	定員	寄宿料(月当たり)	入居期間
広島大学国際交流会館	単身用 60 夫婦用 5 家族用 5	5,900円 9,500円 14,200円	原則として6か月
広島大学池の上学生宿舎	単身用 186	4,700円／7,500円／15,000円 (3タイプ)	原則として2年間
民間アパート借り上げ ※	単身用 160(予定)	8,000円／13,000円／18,000円 (3タイプ)	原則として2年間

支援体制の強化②

ライティングセンターでの論文作成支援 ※英語論文については今後取組予定

- ◆留学生を対象とする日本語・英語の論文執筆活動を支援する制度を導入

PA（フェニックス・アシスタント）による留学生支援の充実

チューター制度による支援

- ◆学生チューターは、留学生の居住生活や大学生活を支援

全学留学生会の創設 ※今後取組予定

- ◆出身国に関わらず参加でき、留学生同士の交流を促進

国際理解を深めるさまざまな取組

キャンパスにおける国際交流

◆会話パートナー

留学生と日本人学生が互いに学びたい言語を話す練習相手になり、相互理解も促進

◆なるほど！ Cross Cultural Discussion

留学生と日本人学生が、毎回異なるテーマについて、主に英語でグループ討論を行う

地域における国際交流

◆NOIE(ノイエ) : Network of International Exchange (国際交流ネットワーク)

国際交流に関心のある日本人・留学生が登録、学内や学外(学校・地域)での活動情報を提供

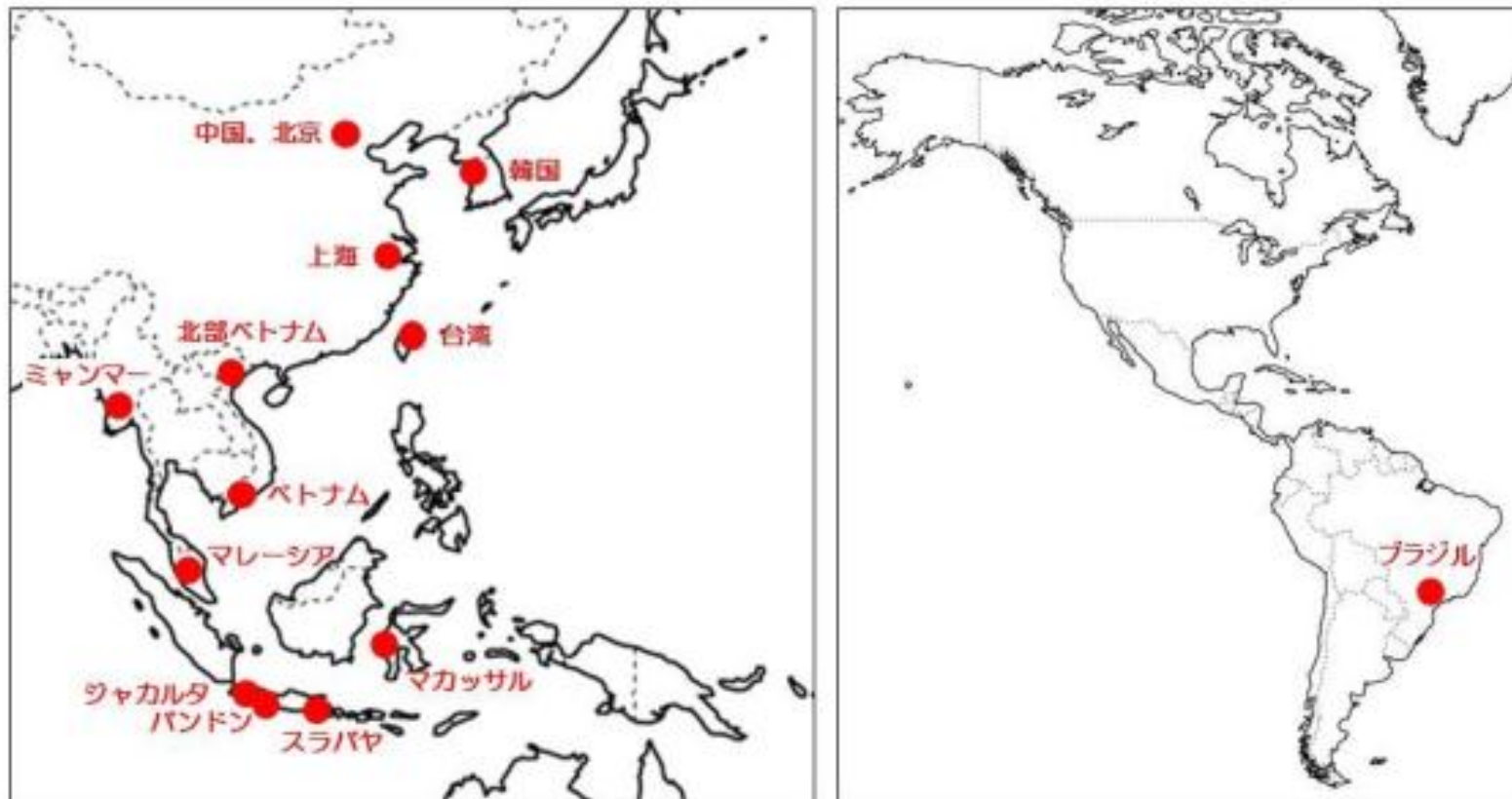
◆国際交流バスツアー

学生が主体となって企画・運営し、留学生と日本人学生が参加する。地域の文化に触れ、地域の人との交流なども行う。

帰国後の繋がりへの取組①

海外校友会設置の積極的支援 ※今後取組予定

- ◆平成26年3月にミャンマー校友会, マレーシア校友会を新たに設置
- ◆海外校友会設置状況…8か国・地域 14海外校友会・同窓会



帰国後の繋がりへの取組②

帰国留学生向けウェブサイトの開設 ※今後取組予定

- ◆修了後の本学との繋がりを維持し、新たな海外同窓会設立のきっかけとなるよう帰国留学生交流のウェブサイトを開設
- ◆大学からの情報発信、帰国留学生や海外校友会の近況報告など、大学と帰国留学生の連帯感の強化を図る

各国留学生と海外同窓会の橋渡し・繋がり企画の実施 ※今後取組予定